

魂の方向性を捉える《引き出しと薄いリーディング》

チャネリングやヒーリング、リーディングを行う前に、

必ず必要になる力があります。

それは、相手の話を引き出し、方向性を捉える力です。

どれだけエネルギーを扱えたとしても、

どれだけ情報を受け取れたとしても、

相手の悩みや願望が曖昧なままだと、

セッションはズレていきます。

この回では、セッションの入口を成立させるための基礎を扱います。

目次

この回の目的

セッションの基本構造

セッションでヒアリングがうまくいかないと感じる時は...

相手の意識を引き出す技術

依頼の整え方

聴く姿勢

薄いリーディング

境界とニュートラル

ミニ実践

まとめ

この回の目的

相手の「悩み・現状・願望・課題」を引き出し、

その魂の方向性を“薄く読み取れる状態”になること。

深く読む必要はありません。

まずは、ズレずに触れること。

セッションの基本構造

セッションでのヒアリングは、大きく分けて4つで成り立っています。

悩み(何に困っているのか)

現状(今どうなっているのか)

願望(本当はどうなりたいのか)

課題(願望達成や悩みの解決に対するクリアするとよいものは何か)

まずはこの4つを、正しく引き出せることが大切です。

セッションでヒアリングがうまくいかないと感じるときは...

セッションでのヒアリングがうまくいかないとき、

多くの場合「スピリチュアル的な読みの精度」が問題ではありません。

そもそも、相手と自分が何を見ているかがズレています。

相手の本音を取れていない

本当に知りたいことが曖昧

質問の焦点がズレている

この状態でリーディングを行うと、

どれだけ正しく読んでも「違う」と言われます。

リーディングの精度よりも、

「相手が何を見ているか」の方が重要です。

相手の意識を引き出す技術

相手の意識を引き出すとは、答えを与えることではありません。

相手の中にすでにあるものを、

言葉として外に出すサポートです。

誘導しない

決めつけない

深掘りしすぎない

方向を見つけるための問いを使います。

依頼の整え方

セッションの前に、必ず確認します。

今日は何を見たいですか？

一番知りたいことは何ですか？

どうなりたいですか？

そして一度まとめます。

つまり、〇〇ということですね？

ここでズレを取ります。

聴く姿勢

引き出すためには、聴けることが必要です。

否定しない

判断しない

解釈しすぎない

相手の言葉ではなく、

「伝えたいもの」を感じる意識を持ちます。

薄いリーディング

ここで初めてリーディングを行います。

ただし、この回では深く読みません。

感じるのはこの3つです。

どこに向かっているか

どこで止まっているか

今どんな状態にいるか

状態とは、

軽い・重い

広い・閉じている

流れている・滞っている

といった質感です。

当てにいかなくていい。

ただ、ズレずに触れる。

境界とニュートラル

相手に入りすぎると濁ります。

受け取りすぎるとズレます。

常に戻れる状態でいること。

それが、伝導者の前提です。

ミニ実践

5～10分間ヒアリング

- ① 悩み・現状・願望をヒアリングし整理する
- ② ①を元に悩み・現状・願望をフィードバックする
- ③ 願望をだいたい1行でまとめる

④ 課題をヒアリングする

⑤ 課題をフィードバックする

正しさではなく、ズレが少ないことを重視します。

この回で一番大切なこと

セッションは「読むこと」ではありません。

引き出して、方向を整えること。

まとめ

まずは深く読む必要はありません。

ズレずに相手の状態に触れること。

それがすべての土台になります。